

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 8 月 5 日 (2021.8.5)

【公開番号】特開 2020-18711 (P2020-18711A)

【公開日】令和 2 年 2 月 6 日 (2020.2.6)

【年通号数】公開・登録公報 2020-005

【出願番号】特願 2018-146325 (P2018-146325)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/00 B

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 6 月 25 日 (2021.6.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

検眼装置を載置する検眼用テーブルであって、  
複数の検眼装置を載置するためのスペースを有する第 1 テーブルと、  
前記第 1 テーブルの下面側に設けられる第 2 テーブルと、  
前記第 1 テーブルと前記第 2 テーブルとの間に設けられるトレイであって、前記第 1 テーブルの下面側且つ前記第 2 テーブルの上面側に設けられるトレイと、  
前記第 1 テーブルと、前記トレイと、を連結するための第 1 移動手段であって、前記第 1 テーブルを前記トレイに対して水平方向に移動可能とする第 1 移動手段と、  
前記第 2 テーブルと、前記トレイと、を連結するための第 2 移動手段であって、前記第 1 移動手段とは異なる移動手段であり、前記トレイを前記第 2 テーブルに対して水平方向に移動可能とする第 2 移動手段と、  
を備え、

前記第 1 テーブルが前記第 2 テーブル上に位置するように、前記第 1 テーブルと前記トレイとの少なくともいずれかを水平方向に移動させることで、被検者に対して複数の前記検眼装置を使用可能とし、

前記第 1 テーブルが前記第 2 テーブル上から退避するように、前記第 1 テーブルと前記トレイとの少なくともいずれかを水平方向に移動させることで、前記第 2 テーブルを使用可能とすることを特徴とする検眼用テーブル。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の検眼用テーブルにおいて、

前記第 1 テーブルは、複数の前記検眼装置を固定する固定部を有し、

前記固定部が前記第 2 テーブル上に配置されるように、前記第 1 テーブルと前記トレイとの少なくともいずれかを水平方向に移動させることで、被検者に対して複数の前記検眼装置を使用可能とし、

前記固定部の少なくとも一部が前記第 2 テーブル上から突出するように、前記第 1 テーブルと前記トレイとの少なくともいずれかを水平方向に移動させることで、前記第 2 テーブルを使用可能とすることを特徴とする検眼用テーブル。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の検眼用テーブルにおいて、

複数の前記検眼装置は、第 1 検眼装置と、第 2 検眼装置と、を含み、

前記固定部は、前記第 1 検眼装置を固定するための第 1 固定部と、前記第 2 検眼装置を固定するための第 2 固定部と、を有し、

前記第 2 テーブル上から前記第 1 テーブルの突出が開始される側の前記第 1 テーブルの側面に対して、前記第 1 固定部の位置が前記第 2 固定部の位置よりも長手方向に遠い位置に配置され、

前記第 1 固定部と、前記第 2 固定部の少なくとも一部と、が前記第 2 テーブル上に配置されるように、前記第 1 テーブルと前記トレイとの少なくともいずれかを水平方向に移動させることで、被検者に対して前記第 1 検眼装置を使用可能とし、

前記第 1 固定部の少なくとも一部と、前記第 2 固定部と、が前記第 2 テーブル上に配置されるように、前記第 1 テーブルと前記トレイとの少なくともいずれかを水平方向に移動させることで、被検者に対して前記第 2 検眼装置を使用可能とし、

前記第 1 固定部の少なくとも一部が前記第 2 テーブル上に配置され、前記第 2 固定部の少なくとも一部が前記第 2 テーブル上から突出するように、前記第 1 テーブルと前記トレイとの少なくともいずれかを水平方向に移動させることで、前記第 2 テーブルを使用可能とすることを特徴とする検眼用テーブル。

【請求項 4】

被検者に対して複数の検眼装置を用いて検眼を行う検眼システムであって、

複数の検眼装置と、

複数の前記検眼装置の内、少なくとも第 1 検眼装置を載置するための第 1 テーブルと、

複数の前記検眼装置の内、少なくとも第 2 検眼装置を載置するための第 2 テーブルと、

前記第 1 テーブル及び前記第 2 テーブルの下面側に設けられる第 3 テーブルと、

前記第 1 テーブル及び前記第 2 テーブルを、前記第 3 テーブルに対して水平方向に移動可能とする移動手段と、

を備え、

前記第 1 テーブルが前記第 3 テーブル上の位置であって、前記被検者の前に水平移動されることによって、前記被検者に対して少なくとも前記第 1 検眼装置を使用可能とし、

前記第 2 テーブルが前記第 3 テーブル上の位置であって、前記被検者の前に水平移動されることによって、前記被検者に対して前記第 2 テーブルに載置された前記第 2 検眼装置を使用可能とすることを特徴とする検眼システム。

【請求項 5】

請求項 4 の検眼システムにおいて、

前記第 1 テーブルと、前記第 2 テーブルと、は、一体的に形成されており、複数の前記検眼装置を載置するためのスペースを有するテーブルであって、

前記テーブルが前記第 3 テーブル上の位置であって、前記第 1 検眼装置が前記被検者の前に位置するように、前記テーブルを水平方向に移動させることで、前記被検者に対して前記第 1 検眼装置を使用可能とし、

前記テーブルが前記第 3 テーブル上の位置であって、前記第 1 検眼装置が前記被検者の前に位置するように、前記テーブルを水平方向に移動させることで、前記被検者に対して前記第 2 検眼装置を使用可能とすることを特徴とする検眼システム。